

都市再生整備計画(第1回変更)

しんみなとよこ ども ちようせん えんどう
新港横戸町線沿道地区

ち ば けん ち ば し
千葉県 千葉市

平成23年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	千葉市	地区名	新港横戸町線沿道地区	面積	170.7 ha
計画期間	平成22年度～平成26年度	交付期間	平成22年度～平成26年度				

目標
「人、自然、未来、いのち」を大切にした、環境にやさしく地域の人々のふれあいと参加のあるみどりの道づくり
①臨海部と内陸部の連絡強化を図る広域道路の整備を主軸とした交通環境の改善
②緑化による緑豊かな都市環境の創出
③市民活動の促進による市民主体のまちづくり

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 千葉市では、県内外の交流・連携を図り広域的な位置付けを確保できる道路網を「千葉市広域道路整備基本計画」において広域道路として位置付け、整備を進めている。現在、都市計画道路新港横戸町線は、広域道路として、特に千葉都心部への交通の分散と臨海部と内陸部の連絡強化を図ることを目的に、整備を推進している。この内、地域高規格道路指定区間は街路事業費補助を活用し、事業を実施しており、また、指定区間外である幸町工区についても、地域高規格道路の整備効果を高めるため、整備を推進している。これにより、新港横戸町線は平成22年度に一部供用開始を予定している。 新港横戸町線沿道地区は海浜埋立地・谷地・台地を結ぶ区域からなり、海浜埋立地区では高層団地が建並び、谷地形地区では古くからの屋敷郡と宅地開発による住宅密集地が混在し、台地地区では住宅地と区役所、医療施設、学校等の公共公益施設が集約された文教地区となっている。新港横戸町線はこれら既成市街地内を通過する広域道路であるため、沿道への環境悪化が危惧されており、その解決策として、道路と沿道緑地が一体となった緑豊かな道「みどりの道」を整備することとしており、緑による効用としての都市のヒートアイランド現象緩和や延焼防止帯等の役割も担うものとしている。 また、地域住民の理解を得るため、沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働によるよりよい道づくりの実現を目指し、単なる道路整備ではない沿道区域を取り込んだ緑豊かな都市環境の創出と市民活動の促進による市民主体のまちづくりを目指している。 ・新港横戸町線道づくり協議会：平成11年度より27回開催，学識経験者，沿道自治会・事業所代表者計21名で委員を構成 ・新港横戸町線緑化検討会：平成11年度よりWS39回開催，緑化計画に興味のある沿道住民で構成　60名程度 なお、本地区は平成16年度から平成20年度までまちづくり交付金の採択を受けて事業を執行したため、本計画は2期計画となる。1期計画において、沿道住民との協働によるよりよい道づくりの実現を目指し、道路、公園等の整備を推進して着実に成果を上げたものの、整備の遅れにより一部事業が未完成となり、沿道環境への影響や地域分断等に対する課題の全てを解決するには至らなかった。さらには、1期計画の事後評価を実施した中で、事業の早い段階からPIを実施してきたことについて高く評価されたが、市民活動の促進を少しでも向上できるような工夫や取り組みを重点的に実施すべきという審議が下されている。よって、2期計画において、1期計画での結果や改善点等を踏まえて事業を推進することにより、目標の達成を図る。
課題
・既成市街地内を通過する街路整備による沿道環境への影響（騒音，大気，振動等の悪化） ・掘割構造である街路整備による地域分断（生活道路，コミュニティ等） ・街路整備により消失する地域資源（緑，景観，歴史，風土等）の復元、保存
将来ビジョン（中長期） 千葉市新総合ビジョン（平成12年3月策定），千葉市緑と水辺の基本計画（当初計画平成9年12月，見直し計画平成14年11月策定），千葉市広域道路整備基本計画（当初計画平成5年策定，見直し計画平成10年6月策定） 首都圏の中核都市との広域道路ネットワークを形成するため、高規格幹線道路の整備を推進し、湾岸部の各種開発の支援、都心部の交通の整流化を図る。 積極的な公共施設の緑化を進めると共に、緑化の意識を高める普及・啓発事業により、市民、民間団体、企業、行政などが一体となった市街地緑化を推進し、緑あふれる都市空間の保全と創造を図る。 市民参加による公共施設の計画・管理等を進め、市民による公益活動を促進し、市民主体の都市づくりを推進する。

目標を定量化する指標							
指　　標	単　　位	定　　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行空間に関する満足度	%	歩行環境に対するアンケート調査による満足度	地域の人々の利用に即した公共施設整備を目指す。	31	H21	50	H26
通過交通の集約化	台	生活道路における通過交通車両台数	通過交通の集約化により、生活道路に流入していた通過交通を除外し、交通環境及び居住環境を向上させる。	354	H21	0	H26
市民活動の促進	箇所	市民参加による管理公園箇所数	地域コミュニティの形成及び市民主体の都市づくりを推進する。	2	H21	4	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
《交通環境の改善》 ・新港横戸町線(幸町工区)、幕張町弁天町線、国道126号の整備により、地域高規格道路の整備効果を高め、臨海部と内陸部の連絡強化を図る。 ・街路整備に併せ生活道路の改善を行い、地区内交通の円滑化、安全性の向上を図る。	方針に合致する主要な事業 ・新港横戸町線道路築造 ・関連生活道路整備 ・幕張町弁天町線道路整備 ・国道126号道路整備
《緑化の推進》 ・沿道環境負荷低減のため、道路内の積極的な緑化や沿道に公園・緑地を整備することにより、緑豊かな都市環境を創出する。 ・地域に根ざした緑づくり、地域資源活用のため、街路事業により支障となる樹木の移植等を行なう。 ・沿道住民参加による緑化計画・設計等を行い、官民一体となった緑化の推進に努め、地域に愛される緑化を目指す。	・公園緑地、ポケットパーク整備 ・新港横戸町線道路築造 ・樹木移植 ・緑化検討会の運営
《市民主体のまちづくり》 ・沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働による「よりよい道づくり」の実現を目指すと共に、地域の連帯や誇りを醸成し、市民活動の促進による市民主体のまちづくりを目指す。	・道づくり協議会の運営 ・緑化検討会の運営
その他	
○住民によるまちづくり活動 ・地区の歴史の保存 旧海岸線から谷津筋の黒砂地区は、先祖伝来の地主が多く、斜面林や屋敷林、神社の森が残る緑豊かな地区であるが、近年、宅地造成等により住宅が密集し、その景観が失われつつあった。新港横戸町線の整備を契機として新旧住民による「黒砂の資料を保存する会」が発足し、市と協働で、次世代に継続する地域資産として、地区の歴史や景観を保存する資料作成や民具等を収集し、公民館への常設展示を行った。展示後も住民主体による活動を継続的に行っている。 ・緑化に関する取り組み 緑化に係わる基本方針を検討するワークショップでの集まりを機に、花壇づくりに興味のある住民が空地等を利用し、花壇づくりを行い管理運営し、新たなコミュニティ形成を築いている。また、公園の管理に参加するグループも立ち上がってきている。 ・小学校総合学習による取り組み 地区近隣小学校では、児童が地域活動に参画し、将来の地域をになう資質を育成することを目的に「まちづくり学習」を行っており、平成13年度から新港横戸町線を題材にした授業がスタートした。身近な地域でのまちづくりの様子を体験しながら、公園の計画づくりを行っている。 ・環境に対する取り組み 新港横戸町線の整備にあたっては環境予測等を行い環境負荷低減を考慮し事業実施を行っているが、整備後の大気質の状況を危惧する住民自ら一部の沿道地区について大気質の簡易測定を実施していた。これにより、他の地区からも沿道地区全体についての現況把握を行いたいという機運が高まり、市で沿道地区住民を対象とした大気についての勉強会等を開催し、測定方法等を住民と検討し、平成15年度に市と住民の協働による簡易測定を一週間実施した。今後も住民による継続的な現況測定意向があれば、住民主体で実施し、市は協力する体勢を取るものとしている。 ・住民主体のまちづくりに関する取り組み 沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働による「よりよい道づくり」の実現を目指して事業を進めてきたが、道路や公園等の整備完了が見え始めてきつつある。これにより、造ったものを今後地元でどのように活かしていくのか考えたいという意識が芽生え、住民が主体となったまちづくりとして何ができるのかという新たな観点での取り組みが始まってきている。	

交付対象事業等一覧表

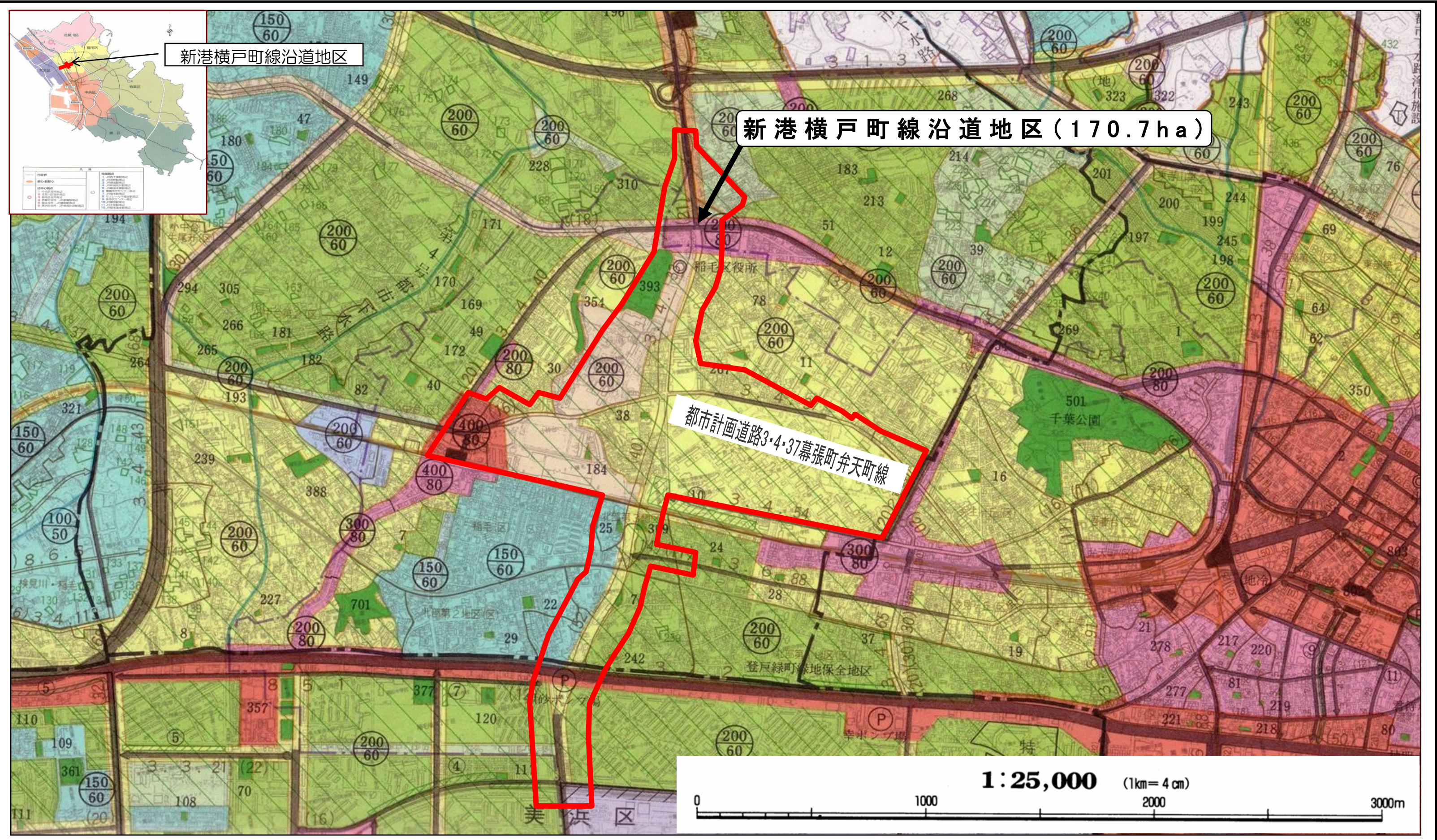
交付対象事業費		837	交付限度額		334.8	国費率		0.4		(金額の単位は百万円)				
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		新港横戸町線	千葉市	直	L=0. 5km	H8	H25	H22	H25	1,855	290	290		290
		幕張町弁天町線	千葉市	直	L=1. 2km	H10	H26	H22	H26	2,260	127	127		127
		国道126号	千葉市	直	L=0. 4km	H22	H22	H22	H22	22	22	22		22
		幸町801号線	千葉市	直	L=0. 2km	H8	H23	H23	H23	7	7	7		7
		黒砂台801号線	千葉市	直	L=0. 1km	H8	H22	H22	H22	22	22	22		22
		黒砂台802号線	千葉市	直	L=0. 1km	H8	H22	H22	H22	10	10	10		10
		穴川41号線	千葉市	直	L=0. 1km	H8	H23	H22	H23	6	6	6		6
公園		幸町I緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H11	H22	H22	H22	48	45	45		45
		黒砂H緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H11	H25	H22	H25	540	14	14		14
		黒砂台二丁目公園	千葉市	直	A=0. 2ha	H11	H24	H23	H24	729	31	31		31
		黒砂台J緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H11	H24	H24	H24	305	3	3		3
		黒砂台K緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H11	H24	H24	H24	50	3	3		3
		黒砂台L緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H11	H24	H24	H24	255	4	4		4
		黒砂台M緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H11	H25	H25	H25	72	3	3		3
		黒砂台N緑地	千葉市	直	A=0. 1ha	H24	H25	H24	H25	31	31	31		31
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		－			－									
駐車場有効利用システム		－			－									
地域生活基盤施設		黒砂台運動広場	千葉市	直	－	H19	H24	H24	H24	1,682	26	26		26
		新港横戸町線(ポケットパーク)	千葉市	直	－	H11	H24	H23	H24	59	19	19		19
高質空間形成施設		－			－									
高次都市施設		－			－									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										7,953	663	663	0	663
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	新港横戸町線沿道関連整備	新港横戸町線沿道地区	千葉市	直	A=0. 6ha	H18	H24	H22	H24	115	115	115		115
					－									
事業活用調査	事業効果検討	新港横戸町線沿道地区	千葉市	直	－	H26	H26	H26	H26	2	2	2		2
		－			－									
まちづくり活動推進事業	道づくり協議会等運営事業	新港横戸町線沿道地区	千葉市	直	－	H11	H26	H22	H26	136	57	57		57
		－			－									
合計										253	174	174	0	174
													合計(A+B)	837

(参考) 関連事業

[illegible]

都市再生整備計画の区域

新港横戸町線沿道地区(千葉県千葉市)	面積	170.7 ha	区域	幸町2丁目、新港、高洲1・2丁目、稲毛海岸1丁目、黒砂2・3・4丁目、黒砂台1・2・3丁目、小仲台1・2丁目、弥生町、穴川1・2・3・4丁目、穴川町、園王町、轟町1・2丁目の各一部
--------------------	----	----------	----	--



新港横戸町線沿道地区(千葉県千葉市) 整備方針概要図

目標	「人、自然、未来、いのち」を大切に、環境にやさしく地域の人々のふれあいと参加のあるみどりの道づくり	代表的な指標	歩行環境の満足度	31 (H21年度) →	50 (H26年度)
			通過交通の集約化	354 (H21年度) →	0 (H26年度)
			市民活動の促進	2 (H21年度) →	4 (H26年度)

